

成果の説明書

(氏名) 森田 稔	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 【教育・研究活動】 ➤ 教育： 2021 年度の講義では、「環境経済学」、「計量分析」、「環境政策論」「基礎演習」、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」を担当した。 ➤ 研究活動： 1) 科学研究費補助金（若手）を受けて、「高齢化社会に適した節電政策に関する実証研究」という研究課題の下、高崎市（スポーツ課・職員労働組合）の協力を得て、プレテストを実施した。それら結果をもとに、山形県飯豊町、群馬県渋川市・前橋市・高崎市でアンケート調査を実施するため、調査票の作成や住民基本台帳の閲覧、そして調査票を郵送するための準備を行った。 2) 岩田和之教授（松山大学）と有村俊秀教授（早稲田大学）と共同で行った以下の研究が <i>Environmental Economics and Policy Studies</i> 誌に掲載された。 M. Morita, K. Iwata and T.H. Arimura (2021) “The rebound effect in air conditioner usage: an empirical analysis of Japanese individuals’ behaviors”, <i>Environmental Economics and Policy Studies</i>, 24, pp. 99-117.	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負 教育： 2021 年度の講義内アンケート結果を踏まえて、充実した講義環境の形成に取り組む。 研究活動： 科学研究費補助金（若手）の研究を継続し、山形県飯豊町、群馬県渋川市・前橋市・高崎市でアンケート調査を 4 月分、夏季（9 月実施予定）、冬季（2023 年 3 月実施予定）実施する。また、学術雑誌への投稿を行う。	